

## 第1回 先端放射光活用研究会「放射光を用いた触媒キャラクタリゼーションの現在と未来」

主催：一般社団法人触媒学会（先端放射光活用研究会）

共催：北海道大学触媒科学研究所、触媒科学計測共同研究拠点、東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター

協賛：岩澤コンファレンス

日時：7月21日（金）、22日（土）の2日間

会場：北海道大学創成科学研究棟 5F 大会議室（100名収容）

アクセス：<https://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

### （開催趣旨）

次世代放射光 NanoTerasu（ナノテラス）が2024年度から運用される。また、SPring-8を始めとした他の先端放射光施設においてもアップグレードに関する議論が進行中である。このような新しい先端放射光の誕生によって、触媒材料のキャラクタリゼーションの新たな展開と発展が期待できる。本シンポジウムでは現在放射光を利用している方だけでなく、触媒分野の発展のために今後利用をしてみたいと考えている方を対象とし、先端放射光源を用いた触媒キャラクタリゼーションの現在と未来について議論を深めたい。

### （1日目）

- 13:00-13:10 開会挨拶 唯美津木（名大）
- 13:10-14:00 講演 A-1（50分）村松淳司（東北大）  
「次世代放射光施設 NanoTerasu の概要」
- 14:00-14:40 講演 B-1（40分）佃達哉（東大）  
「金超原子の構造と物性」
- 14:40-15:20 講演 B-2（40分）藪内直明（横国大）  
「放射光を活用した蓄電池材料研究」
- 15:20-15:40 休憩
- 15:40-16:00 講演 C-1（20分）吉田真明（山口大）  
「水分解電極の全元素を分析するオペランド XAS 観測」
- 16:00-16:20 講演 C-2（20分）大山順也（熊本大）  
「In situ HERFD XAFS 分光法によるメタン部分酸化に有効な Cu-CHA の構造解析」
- 16:20-16:40 講演 C-3（20分）二宮翔（東北大）  
「放射光軟 X 線分光によるナノ粒子の構造歪が誘起する特異な電子状態の理解」
- 16:40-17:00 講演 C-4（20分）上原広充（三井金属鉱業）  
「機能性材料の薄膜化の検討と放射光による状態分析（仮）」
- 17:00-17:50 講演 A-2（50分）今井英人（FC-Cubic）  
「放射光による燃料電池解析：NEDO FC-Platform の取組み（仮）」
- 18:15~ 懇親会

### （2日目）

- 9:00-9:20 講演 C-5（20分）小坂谷貴典（京大）  
「準大気圧光電子分光法を用いた不均一触媒反応のその場観測」
- 9:20-9:40 講演 C-6（20分）石黒志（東北大）  
「テンダー X 線タイコグラフィによるリチウム硫黄電池の化学状態イメージング」
- 9:40-10:00 講演 C-7（20分）加藤優（北大）  
「電極触媒におけるその場 X 線吸収分光計測」

- 10:00-10:20 講演 C-8 (20分) 鳥屋尾隆 (北大)  
「データ駆動型固体触媒開発と放射光を用いた触媒作用機構研究」
- 10:20-10:40 休憩
- 10:40-11:00 講演 C-9 (20分) 金子雅英 (日本特殊陶業)  
「固体電解質材料開発における放射光 X 線分析の活用と今後の展望」
- 11:00-11:20 講演 C-10 (20分) 長岡修平 (ジョンソン・マッセイ・ジャパン)  
「Industrial Catalyst Research and Development with Advanced Spectroscopies」
- 11:20-12:10 講演 A-3 (50分) 朝倉清高 (北大)  
「Photon-in Photon-out 分光でなにがわかるか? -高輝度光源への期待-」
- 12:10-12:20 閉会の辞 高草木達 (北大)

申込先 URL :

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf9f\\_ywdmWtevSMW9e\\_qsElidWQLpxWnZfNx8XQaYQ6KV1I9A/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf9f_ywdmWtevSMW9e_qsElidWQLpxWnZfNx8XQaYQ6KV1I9A/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0)

申込締切 : 7月14日 (金)

参加費 : 無料

懇親会費 : 4,000円

\*ハイブリッドでの開催を検討しておりますが、オンラインでの参加は聴講のみとする予定です。